

平成28年9月12日

個人EBMに関する特許取得について

武蔵野銀行（頭取 加藤喜久雄）は、参加するナレッジラボ（※）において個人のお客さまを対象とするイベント・ベースド・マーケティング（以下、「EBM」といいます）に関する特許を取得しましたので、お知らせします。

EBMは、お客さまの金融ニーズが顕在化した取引や属性の変化などのイベントを捉えて、ニーズを的確に把握するマーケティング手法です。当行では平成27年7月より個人のお客さまを対象としたEBMの運用を開始し、毎月15,000件以上の情報を営業担当者に配信することで、お客さまのニーズに沿った提案活動を行っております。

今後も当行はナレッジラボ参加行との連携を進め、全国規模のデータから得られる知見を活用することで、お客さまとの接点拡大とサービスの拡充に努めてまいります。

【特許権の概要】

登録番号：特許第5850592号

発明の名称：金融口座を管理するコンピュータ・システム

*個人のお客さまの口座に入金される資金の特徴を推測するモデルを開発。このモデルによって退職金の受取などを推定し、お客さまのニーズに沿った提案を行うことができる。

※ナレッジラボ

参加行のマーケティングデータベースの共有によるEBMモデル開発とノウハウ共有、及び人材育成を行っている組織で、参加行は9行（北海道銀行、群馬銀行、武蔵野銀行、横浜銀行、北越銀行、北陸銀行、京都銀行、四国銀行、西日本シティ銀行（平成28年8月現在））。事務局は株式会社浜銀総合研究所（代表取締役社長 伊東 眞幸）が行っている。

以上

報道機関からのお問い合わせ先
営業統括部 野崎
TEL (048) 641 - 6111 (代) 内線 2408

